

関西の景気トピックス【ホテル稼働率（24 年 12 月）】

- 24 年 12 月の宿泊旅行統計調査（観光庁）によると、ホテルや旅館の客室稼働率は好調な推移が続いている。東京、大阪は直近で 80% を超えるなど、大阪に関してはコロナ前の水準を上回る動きとなっている。
- ホテル・旅館の利用を支えているのは主に訪日客であり、結果として、延べ宿泊者数に占める訪日客の比率は上昇傾向にある。東京、大阪ともに直近はコロナ前を上回る推移となる中、特に東京の水準は高く、50% を超える動きが続いている。
- 一方、訪日客が増加を続ける中、国内客の動きに好調さは感じられない。延べ宿泊者数のコロナ前比（19 年比）について、国内客、訪日客の動きをみると、東京、大阪ともに両者の動きには大きな格差がみられる。東京では訪日客がコロナ前の 2.2 倍に達する一方、国内客はほぼコロナ前と同等の水準で推移。大阪も、訪日客がコロナ前の 1.6 倍に増えている一方、国内客はコロナ前を下回る月もみられる。一般的にホテル需要は好調とされるが、基本的には訪日客の需要に支えられたものであり、国内客の需要は決して強くないといえよう。

